

DC-D4236RX(屋内専用) 施工基準書

フルHD ドーム型ネットワークカメラ

DC-D4236RX



- DirectIP NVRで簡単にインストール
- フルHD(1080p)解像度
- 電動バリフォーカルレンズ($f = 2.8 \sim 12\text{mm}$)
- マイクロSD / SDHC / SDXC
- アラーム イン/アウト
- PoE(IEEE 802.3afクラス3)、DC 12V
- デイ&ナイト機能(ICR)
- トゥルーワイドダイナミックレンジ(WDR)
- IR LED(距離: 30m)
- 設置用の3軸機械設計
- ONVIFをサポート
- NDAAコンプライアンス

H.265

Direct IP®



本体小売希望価格: オープン価格

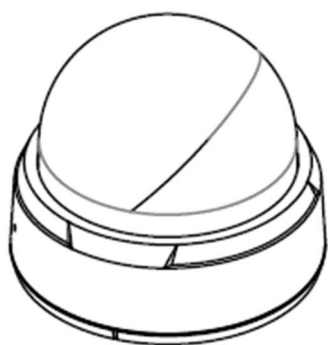
寸法図



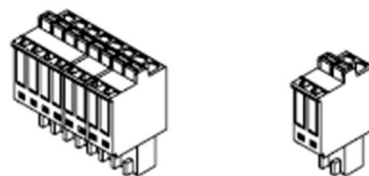
仕 様

画像センサー	1/2.8 型 CMOS
最高解像度	1920 × 1080
スキャン方式	プログレッシブスキャン
焦点距離	2.8mm ～ 12.0mm
レンズタイプ	電動バリフォーカル
画角	水平：98°～33°、垂直：51°～19°、対角：116°～38°
パン / チルト範囲	パン：-175°～175°、チルト：0°～67°、回転：-177°～177°
有効画素数	約 200 万画素
最低被写体照度	カラー：0.1Lux @ F2.0、B/W：0Lux (IR LED On)
デナイト機能	あり (IR カットフィルター)
プライバシーマスク機能	あり (8 ゾーン)
ビデオ出力	1-CVBS
音声入 / 出力	1 / 1 (-Aモデルは音声無し)
アラーム入 / 出力	1 / 1
ワイドダイナミックレンジ	120dB
エッジストレージ	micro SD/SDHC/SDXC、スマートフェイルオーバー (最大 256GB)
イーサネット	RJ45 (10/100 Base-T)
ビデオ圧縮	H.265、H.264、M-JPEG
画像サイズ	1920×1080、1280×720、640×360、352×240
最大フレームレート	30ips : 1920×1080 (WDR)
IP カメラプロトコル	IDIS プロトコル (DirectIP2.0)、ONVIF プロファイル S
音声圧縮	ADPCM 16K, G.726, G.711 u-Law, G.711 a-Law (-Aモデルは音声無し)
セキュリティ	SSL Encryption、Multi-user Authority、IEEE 802.1x、IP Filtering、HTTPS
遠隔アクセスクライアント	DirectIP NVR、IDIS Web、IDIS Mobile、IDIS Solution Suite
赤外線 LED	30 m (6pcs)
バンドルブルーフ	—
環境性能	屋内専用
電源	DC 12V / PoE (IEEE802.3af, Class3)
消費電力	12V=、0.64A、7.7W / PoE、IEEE 802.3af (Class 3)、7.6W
使用温度範囲	-10℃ ～ 50℃ (起動可能な温度：0℃以上)
使用湿度範囲	0% ～ 90%
外形寸法	φ 122 × 103.4 mm
重量	0.37kg

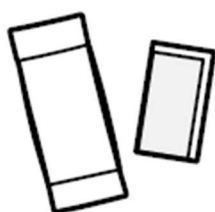
付属品



カメラ本体



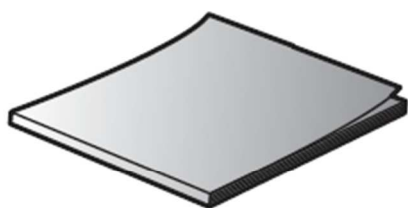
端子台（2個）



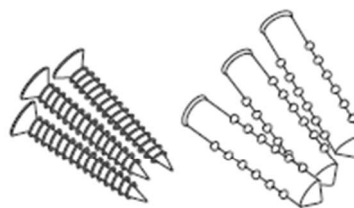
乾燥剤



六角レンチ



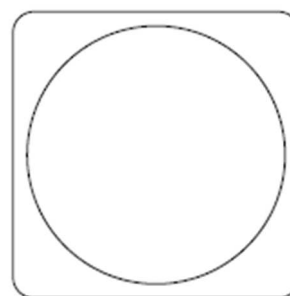
クイックガイド



ネジ・アンカー（各3個）



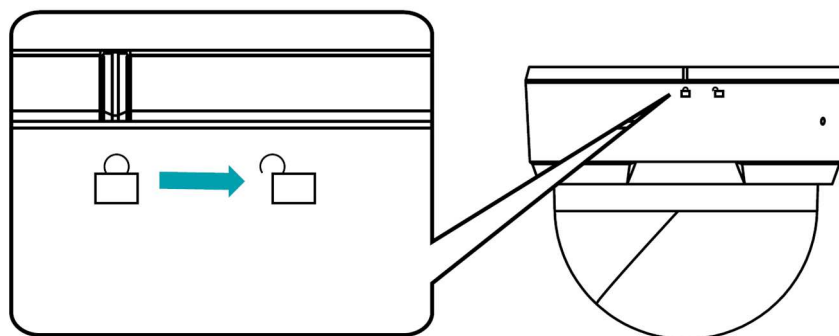
保護コネクタ



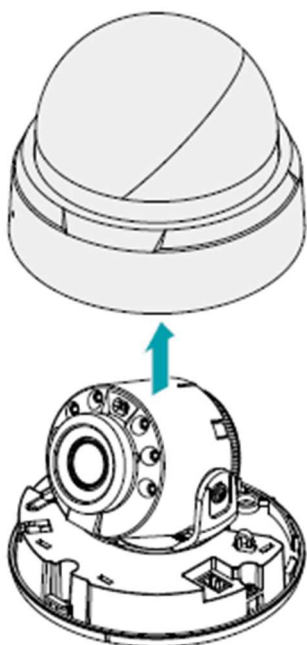
ガイドパターン

施工手順

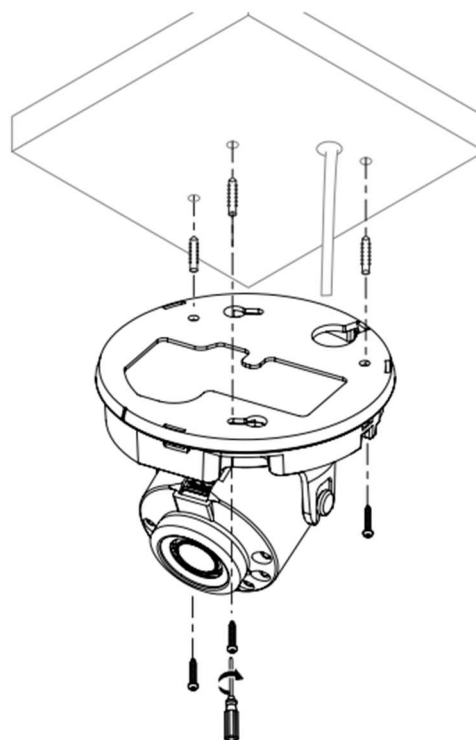
1. ドームカバーを反時計回りに回します。



2. ドームカバーを取り外します。



3. カメラを設置します。



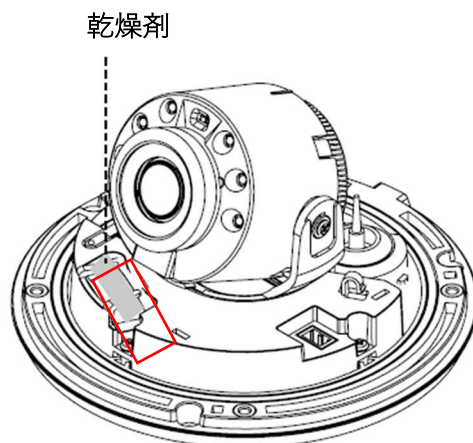
※ガイドパターン（位置だしステッカー）を利用して固定用ネジ・ケーブル穴の墨だし
開口します。ケーブル通線孔（直径 25 mm程）

※外部機器とネットワークケーブル類を接続します。

※アンカー・ビスは3点止めです。

注）天井、壁の建築材に合わせてアンカー・ビスを選定してください。

4. 設置後、同封の乾燥剤を入れてください。

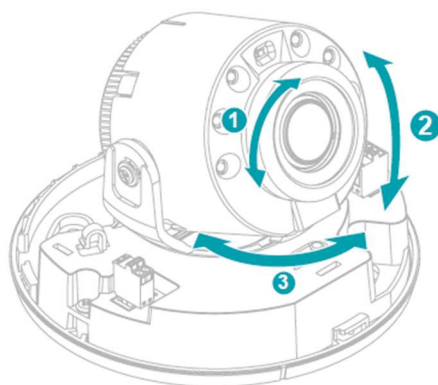


5. カメラの画角調（レンズは3軸に沿って回転させることができます。）

① レンズの回転

② 垂直回転

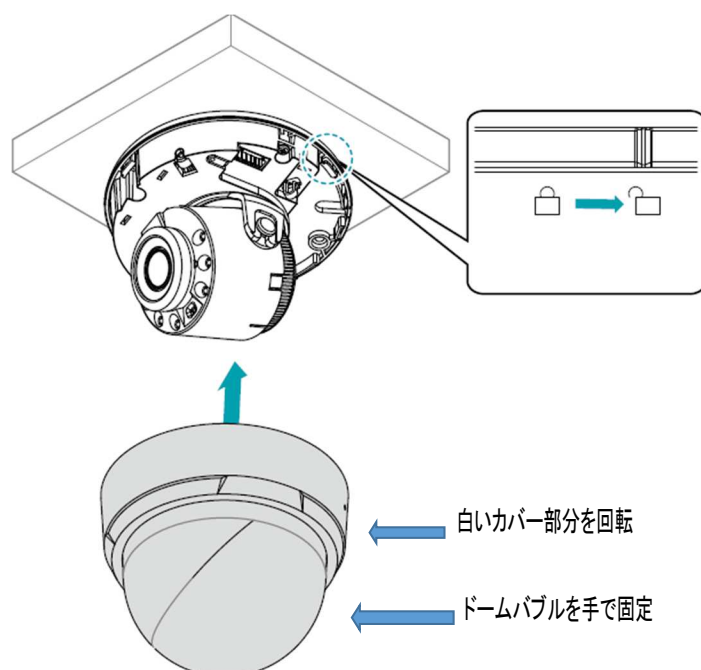
③ 水平回転



6. ドームカバーを取り付けます。

※ドームカバーを時計回りに回して固定します。

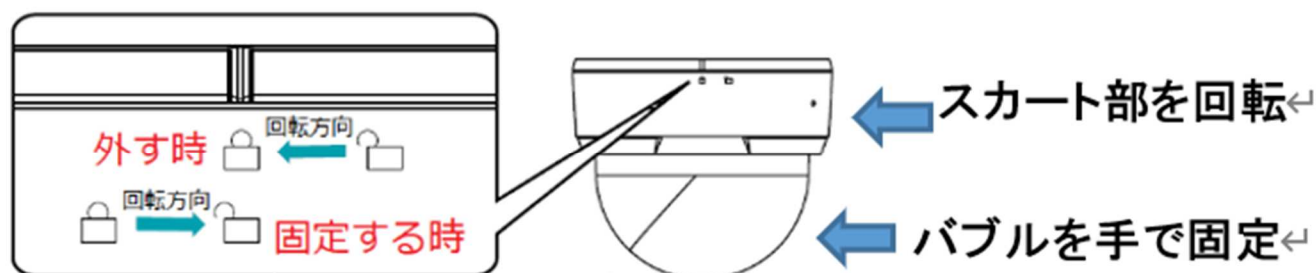
※カメラの向きが変わらぬようドームカバーのバブル部分でカメラユニットを押さえつけた状態で、底面の溝がロック位置に来るようドームカバーを時計回りに回してロックします。



注意事項

※ドームカバーの落下防止のため、カメラ本体とドームカバーの間に隙間がなく確実に固定されていることをご確認のうえ、適切に取り付けてください。

※隙間がある場合は、正しく装着されていない可能性があります。



※壁や天井に補強が必要かどうか確認してください。壁や天井がカメラの重量を支えるのに十分な強度がない場合、カメラが落下する可能性があります。

※カメラは日陰に設置してください。直射日光の当たる場所に設置すると、悪影響を受ける可能性があります。

※ケーブル類は絶縁処理、防水処理を確実に施してください。

※アクセサリの取り付け金具を使用する場合は取付金具の施工基準書を参照してください。

